

ドイツにおける書籍学関連教育課程

——11 大学 20 課程の概要——

竹 岡 健 一

ドイツの大学における書籍学関連教育課程については、拙論「ドイツにおける『書籍学』——概観とマインツ大学書籍学研究所に関する事例研究」(九州大学独文学会編「九州ドイツ文学」第 27 号、2013 年、1～18 頁)において概略を論じたが、マインツ大学を除いては、各大学の個々の教育課程の詳細は扱われなかった。本稿は、これを補うべく、全 11 大学の 20 の教育課程の概要を紹介するものである。これにより、改めて書籍学関連教育課程の全般的な特色が把握されると同時に、教育課程ごとの特色もある程度明らかになる。なお、教育課程には、1999 年のボローニャ宣言以降、新規の登録が終了しているものは含まず、「学士課程」(BA)と「修士課程」(MA)がそれぞれ 9、その他が 2 (「ディプロム」[Dipl.]と「補修教育課程」)である。以下に記す各大学の教育課程の名称、設立年、および教育内容は、概ね 2012～2013 年にかけての各教育課程のホームページの記載に基づいており、それらの URL は上記拙論の注に記されているが、エアランゲン=ニュルンベルク大学については、新しい URL (<http://www.buchwiss.uni-erlangen.de/startseite.html>) に記載された内容に従っている。

1. バンベルク大学 (Universität Bamberg) : 1999 年設立

- ・ BA ゲルマニスティク (モジュール : テキストと仲介)

文学仲介の対象領域と課題領域 (書籍販売の歴史、読者の歴史、文芸批評の歴史、書籍出版社の組織、図書館制度、文学評価の理論、公共の場における文学、クリエイティブ産業の実務領域) への導入。

- ・ MA ゲルマニスティク : 文学と文学仲介 (モジュール : 文学仲介の理論と実際)

原稿審査業務、文学とメディア（の変化）、文化マネジメント、読書と聴取の態度、文芸批評、印刷業務、書評、受容美学、文学の受容、書籍学と図書館制度、書籍出版社の組織、文学の評価の理論と実際、編集、著作権、販売といった文学仲介の数多くの対象領域を、学問的かつ実務に即して深める。

2. エアランゲン＝ニュルンベルク大学（Universität Erlangen-Nürnberg）：

1983年設立

・BA 書籍学

学士教育過程は、本というメディアと、生産、販売、受容におけるその変遷を伝える。

学業の目的は、二重の専門知識の獲得であり、一方では学問的・分析的能力に、他方では書籍経済的实践に関連する知識に方向づけられている。学業の内容のモジュール化は、この目標設定に対応したものである。長所は、複科専攻としての構想にある。つまり、第二の専門分野の選択（とりわけ演劇学・メディア学、ドイツ語・ドイツ文学、ロマンス語・ロマンス文学、英語・英文学、歴史、経済学、社会学と組み合わせられることがしばしばである）を通じて、後の職業のための特殊な資格の付与にも貢献する学際的な関連づけが生じるのである。

対象は活字メディア、特に印刷された本とデジタル化された本、社会におけるそれらの役割、メディア・システムにおけるそれらの位置づけである。第一学年の必修の構成要素である基礎モジュール「書籍学の基礎」と「読書と読者」から出発して、それに続く学期は、書籍経済、電子出版、電子商取引、並びに書籍と書籍販売の歴史といった重点の中で深め、広げる。8週間の書籍経済実習と「応用タイポグラフィー」の講習は、必修の構成要素である。エアランゲン大学の書籍学は、とりわけ現代的理解と歴史的理解が同等にカリキュラムに統合されていることによって際立っている。

・MA 書籍学

エアランゲン大学の書籍学は、多くの選択の可能性を認める、研究に方向づけられた単科修士課程を提供する。二つの特殊化の可能性が、研究におけるエアランゲン大学のプロフィールを教育過程に移す。

重点「メディア・コミュニケーション 本」は、書籍コミュニケーションの機能と能力、およびメディアの歴史と現在における受け取り手としての読者を扱う。中心となるのは、印刷された本からカセットブック、デジタル形式、ハイブリッド形式といったより新しいメディア形式にまでいたる様々なメディア形式と、文字に基づくコミュニケーションの使用可能性の質である。重点は、本の生産と本の造形、読書と読書の歴史、および書籍利用研究に置かれる。歴史と現在を包括するメディア学的・コミュニケーション学的端緒に特色がある。

重点「メディア経済 プリント&デジタル」は、職業部門としてのメディア経済を扱う。経済的財産理論、メディア・システムの位置づけとその立役者、並びに関連する市場の構造を手掛かりとして、プリント経済とデジタル経済に焦点が合わされる。学生は、メディア経済の現代の発展を知り、デジタル世界の挑発と特殊性を扱うことを学ぶ。

それぞれの重点における一年間のプロジェクト活動が、獲得された知識の深化と応用に役立つ。学生は、グループで、または外部のプロジェクト・パートナーと共に活動し、そのさいアクチュアルな研究上の問いが扱われ得る。選択領域の内部で、学生は、その学問的地平を「ストゥディウム・ゲネラーレ」の流儀で拡大する。彼らは、それぞれ別の書籍学的重点の特殊なモジュールの中から、又は経済学、社会学、コミュニケーション学、文学、言語学といった隣接する学問分野の15の修士課程のモジュールから選択する。

3. フランクフルト大学 (Universität Frankfurt) : 1997年設立

・補習教育プログラム：書籍とメディアの実務

補習教育プログラム「書籍とメディアの実務」は、学業と書籍・メディア関係の職業実務の間を橋渡しする。それは、特に文献学領域の高い能力を持つ大

学卒業者に向けられている。彼らは、2 学期の補習授業の枠内で、学業で身につけた知識を、職業特有の要求と期待に照らして、書籍とメディアのプロフェッショナルな実務に応用する能力を獲得せねばならない。そのため、ドイツで比類のないこの補習教育プログラムは、出版社、新聞、ラジオ・テレビ会社、図書館、書籍販売業、およびその他の文化施設と提携している。補習教育プログラムの教育は、これらの領域の優れた代表者らによって提供される。

4. ライプツィヒ大学 (Universität Leipzig) : 1994 年設立

- ・ BA コミュニケーション学・メディア学 (モジュール：書籍学)
- ・ MA コミュニケーション学・メディア学 (重点：書籍学/書籍経済)

専門領域「書籍学」の特性は、他の領域と同等にコミュニケーション学・メディア学研究所に根を下ろしていることにある。それにより、メディアとしての書籍が、他の現代的マスメディアとならんで研究され、メディア状況全体と関連づけて考察される。この結びつきにより、ライプツィヒの研究所は、世界的に見てもユニークな特色を持つ。書籍学部門の優先的な目標は、出版社と書籍販売の領域における職業の準備をすることである。教育において、私たちは、学士の教育にも修士の教育にも関与する。

書籍学は、書籍理論、書籍経済、書籍史という柱に支えられている。また、学問的重点は、歴史のおよびアクチュアルな書籍販売と出版社の研究の領域に置かれている。私たちは、細分化した教育を提供することにより、書籍出版社の活動(原稿審査、PR・宣伝、販売)の準備を、そしてさらに普及書籍販売における高い地位の準備をも、徹底して行う。私たちは、出版・メディア業界との強力な結びつきにより、業界への高い斡旋率を達成している。

5. マインツ大学 (Universität Mainz) : 1947 年設立

- ・ BA 書籍学

学士課程「書籍学」は、最新および歴史的な書籍学的研究問題の核をなす領域、特に生産、販売、受容の領域のモジュールを包括している。そのさい、書

書籍販売の構造と書籍市場のメカニズムと関連する複雑な問題も、文化的財産でもあり経済的財産でもある書籍に影響を及ぼす精神的・経済的プロセスも分析される。一つの重点は、社会および市場における書籍の位置づけにアクチュアルにまた歴史的に影響を及ぼすメディアの大変革に置かれる。

社会的・文化的変遷の中でのメディアに特有な局面の分析は、上記の関連において、書籍学的問題領域のより大きなコンテクストへの、例えば経済、精神、文学、芸術、メディアなどの歴史への組み入れへと向かう。必要とされる学際的手がかりは、専門分野 03（法律学、経済学）と 02（社会学、メディア、スポーツ）からのメディア法とメディア産業に関する授業を持つモジュールを通して、また大学の人文科学、メディア学、文化学、社会学の分野から補完的分野を選ぶことによって、強化される。専門に特殊な内容を越えて、その都度もたらされるべき学業の成果に基づいて、職業に重要な鍵となる資格が獲得されることが保証されている。（とりわけ「ソフト・スキル」のモジュールを通じて。）それらは、他の学問的・実践的活動領域にも転用され得る。

・MA 書籍学

修士課程「書籍学」は、学士課程「書籍学」またはごく近い教育課程を前提とし、それに連続する、研究に方向づけられた教育課程として提供される。

最初の学年には、学生は、拡大段階において、アクチュアルな研究問題と集中的に親しまされ、そのさい、本の歴史からの研究領域（例えばインキュナブラ研究や初期の印刷の研究）も、アクチュアルな問題設定（例えばメディア企業としての出版社）も扱われる。個々の授業は、歴史的研究領域とアクチュアルなそれとの結びつきを提供する。（例えば、「出版プロセス」ゼミは、歴史的コンテクストにおける作家と出版社の問題も、アクチュアルなオープン＝アクセス＝プロセスもテーマとし得る。）同時に、書籍市場の具体的な現象の分析に専念する授業も提供される。

プロジェクト段階では、学生は、一方ではアクチュアルな学問的議論の中心にある研究の重点（例えばメディアの大変革）に集中し、他方で「プロジェクトの相談」モジュールでの集中的な世話を通じて、独自の研究の関心を形成し、

研究プロジェクトを実行するよう指導される。

それとならんで、学生には、追加の資格として、外国語の知識を深めたり、書籍学の隣接分野の授業の選択を通じて書籍と密接に関連するテーマに関する知識を手に入れたりする可能性が開かれている。

6. ミュンヘン大学 (Universität München) : 1987 年設立

・BA 書籍学

学士教育課程「書籍学」の中心にあるのは、文化的、経済的、技術的特性という点での「書籍」メディアである。そこではまた、文化的な問題設定に慣れ親しむと同時に、学問的方法の応用と一般的な情報能力（情報の入手とリサーチ）も伝えられる。本課程は、プログラムと書籍小売販売の立案、書籍市場の法律的・経済的基礎、編集面・内容面での出版社業務、マーケティングと印刷業務といった領域をカバーする基本的な職業実践的教育を提供する。学生は、経営学の基本的かつ一般的な知識を獲得する。選択モジュールは、製作能力または言語能力の追加を可能にする。

・MA 書籍学：出版社実務

授業は、書籍業と出版業の組織的、経済的、法律的基礎、原稿審査と編集、プログラム立案、印刷業務、販売とマーケティングといった領域における実践的能力、ならびに書籍販売の歴史の基礎を伝える。そのさい、従来通り、メディア産業の所在地ミュンヘンとの緊密な結びつきを得る努力がなされているが、これは、ミュンヘンの教育課程を他の大学から際立たせる長所である。職業実践コースでは、書籍業界の講師が授業を行う。このことは、アクチュアルな需要に合わせた業界の後進の教育を保証し、未来の同僚との早期の結びつきを促進する。小さなプロジェクトに関する実践的に方向づけられた共同作業と書籍見本市でのプレゼンテーションが、講義とゼミでの理論的教育を補い、職業生活で必要なソフト・スキルの教育を促進する。

前もって前提とされている 2 ヶ月間の出版社実習に加えて、書籍販売業におけるさらに 4 ヶ月間の実習——そのうち少なくとも 2 ヶ月間は再び製造書籍販

売（出版社）でなされる——とそれについての実習報告が予定されている。学業開始前に既に終えられた実習も考慮される。

・MA 書籍学：書籍・メディア研究

本教育課程は、書籍とメディアの歴史を、写本文化から電子書籍にまでいたる全体像の中で考察する。中心にあるのは、メディアの多様性、生産、販売、および（書籍）メディアの受容である。そのさい、市場・商標研究、読者・消費研究、ならびにメディア利用状況研究の方法が教えられる。メディアの大変革の社会的重要性は、歴史的・現代的観点で、学際的に考察される。

7. ミュンスター大学 (Universität Münster)：1998 年設立

・MA イギリス学、アメリカ学、およびポストコロニアル・スタディーズ

書籍学は、文学ないし文化学と言語学領域の授業とともに、英語英文学科における「イギリス学、アメリカ学、ポストコロニアル学の文学修士課程」の不可欠な構成要素である。本修士課程は、学生に重点形成の多様な可能性を提供する。

書籍学（ブック・スタディーズ）は、歴史的ならびに現代に関連する観点での書籍を、理論形成と研究の中心に置く。ミュンスター大学の英語英文学科と専門領域 9「文献学」への統合により、当然ながら、テキストと書籍と文化の関係の考察と英語圏の文化領域に優先的な意味が与えられる。書籍学の授業は、研修旅行とワークショップによって補完され、深められる。

8. ライプツィヒ工業・経済・文化大学 (Hochschule für Technik, Wirtschaft und Kultur, Leipzig)：1992 年設立

・BA 書籍販売/出版社経済

教育は、製造（出版社）書籍販売と普及（卸売と小売）書籍販売、新聞業と雑誌業、およびメディア産業のその他の企業における責任ある活動のために、今日と明日求められる知識、能力、技能を伝える。

教育内容は、印刷メディア企業におけるダイナミックな発展と実務からの

様々な要求にも、臨機応変に適応する。このことは、電子出版の領域における急速な発展にも該当する。他の大学の教育課程に対するライプツィヒ工業・経済・文化大学のそのユニークな点は、強固な経営学的方向づけにある。それゆえ、それは、出版社、商業を営む企業、およびコンテンツ産業の関連企業のマーケティングとマネージメントといった領域におけるよい栄達の機会を拓く。教育の目的は、職業に関連する幅広い一般的・専門的知識の獲得と、文化・メディア産業の上記の領域における成功に満ちた職業活動の前提となる能力と技能の発達である。

その上、職業の資格を与える最初の大学卒業として、学士資格は、接続する修士課程「出版マネージメントと商業マネージメント」の基礎をなす。

・MA 出版マネージメントと商業マネージメント

修士課程「出版マネージメントと商業マネージメント」は、メディア産業とメディア学の領域の卒業生に、最良の出世の見通しを持つ高い学問的レベルのメディア経済的教育を提供する。というのも、現代のメディア世界の多様性は、出版社においてであれ、書籍販売においてであれ、書籍とメディア産業の他の企業においてであれ——多面的な責任の担い手を要求するからである。テンポの速い発展にもかかわらず展望を得たい者は、特殊な専門知識を必要とする。そのさい、本課程の特性は、マーケティングとマネージメントのまとまりが、プロジェクト作業への深い関与による明確な実践的方向づけと結びついていることにある。学生は、メディア企業における企業経営の初歩的知識を教えられる。彼らは、経済的関連とマーケット構造を理解し、それに適切に対応することを学ぶ。彼らは、ダイナミックなメディア業界における指導的な活動に対し最良の備えが出来るよう、マネージメントと経営の能力を与えられる。

9. ライプツィヒ・グラフィック・書籍芸術大学 (Hochschule für Grafik und Buchkunst, Leipzig) : 1955 年設立

・Dipl. 書籍芸術/グラフィック・デザイン

システムデザイン、タイポグラフィー、イラストレーション、および活字の

小さな分野でもって、ライプツィヒ・グラフィック・書籍芸術大学は、ドイツの他の大学の非常に多くの集団作業から際立つ。そして、とりわけ最後の二つの専門分野でもって、ほとんどまだ教えられていない領域を教える。小さなグループでの勉学は、集中的な学習と個人的な出会いの機会を提供する。狭い境界を引くことなしに、個々のクラスの教師によって特徴づけられる教育の間に、クラスを越えるプロジェクトが実施される。

イラストレーションのクラスは、絵本から双方向性の CD にまでいたるデザインとイラストの作業に専念する。活字との集中的な取り組みは、タイポグラフィと活字のクラスにおいて中心をなす。「活字デザイン」のクラスによって、当大学は、現代風の活字の必要な芸術的研究に活動の余地を与える授業を提供する。システムデザインのクラスは、構想的・総合的な形成に従事するが、そのさい、様々なメディア的・空間的フォーマットでのデザインによるアイデアの出版が問題となる。

10. シュトゥットガルト・メディア大学 (Hochschule der Medien, Stuttgart) : 1977 年設立

・BA メディア出版

メディア出版は、ドイツにおける出版業の領域における最も古い教育課程の一つである。当学士課程は、1977 年に「出版産業と出版製造」の名称で設立されて、書籍出版と印刷出版の業務領域からの広く多様なテーマを提供している。教育と研究の内容は、常に出版業界のアクチュアルな要求に合わされる。したがって、現代の電子メディアもまた、授業の確固たる構成要素である。

メディア出版教育課程は、(1)数学的・自然科学的基礎教育、(2)印刷技術と電子出版のすべての段階に対する技術的基礎知識、(3)マーケティングを含む経済的資格の付与、(4)特殊な出版社教育、という 4 本の柱に基づく。

授業はモジュール構造になっており、経営学、製造技術、造形、および出版に関連する授業を含む。書籍、新聞雑誌、および印刷が、電子的コミュニケーション・メディアとならんで、教育の伝統的重点を形成している。

・MA 印刷と出版

修士課程「印刷と出版」は、印刷業と出版業のための指導力のある人材を育成する。学生は、業界の経済的な、マーケティングに重要な、技術的な方法を学ぶ。産業との関係は、特に重視される。つまり、学生はプロジェクトにおいて印刷業および出版業と緊密に協力するが、それは、学業と職業の間の滑らかな移行を可能にする。学業は、選択モジュールの割合が大きく、個々の学生の関心に応じた自由度が高い。学業の成果や期間の4分の1は、外国でなされてよい。修士学生は、それによって自らの資格を完全なものにし、未来の雇用主にとってより価値の高いものとなる。

11. フランクフルト・メディアキャンパス (Mediacampus frankfurt | die schulen des deutschen buchhandels in Kooperation mit der Steinbeis-Hochschule Berlin) : 2010年設立

- ・BA 書籍販売とメディアのマネージメント
- ・BA 出版社とメディアのマネージメント

ドイツ書籍販売業の学校であるメディア・キャンパス・フランクフルトは、2010年より、書籍販売とメディアのマネージメントないし出版社とメディアのマネージメントの領域における、職業と職業教育に不可欠な学士課程を、教育内容に追加する。

包括的な経営学的能力ならびに書籍業界と出版業界の特殊な内容が、的を絞りかつ実践的に、私たちの業界の挑発に対して心構えをさせる。業界のスペシャリストと見習いにとって、すでに達成された資格内容の評価となる。未来の、そして既に職業生活を送っているすべての書籍販売業者とメディア商人にとって、職業と職業教育に不可欠なものである。

付記：本研究はJSPS 科研費 25370361、および財団法人国際文化交流事業財団人物交流派遣・招聘事業（2012年度派遣）の助成を受けたものです。